

観光地魅力度調査報告書

令和2年8～9月

～城崎温泉版～



公益社団法人ひょうご観光本部

Hyogo Tourism Bureau



調査目的	観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の顧客データを収集、地域ごとの訪問客の属性等の傾向を分析し、地域における観光商品やサービスに対する評価を踏まえ、今後の対策に活かすことを目的とする。
調査地域	城崎温泉
調査対象者	調査地域を訪れた観光客、宿泊客
サンプル数	206
調査手法	QRコードを媒介としたインターネット調査
調査期間	2020年8月～2020年9月

《居住地》

- ・観光客・宿泊客の約8割が県内と大阪府、京都府からの訪問者で、マイクロツーリズムが拡大している。

《旅行目的》

- ・温泉が大きな強みとなっている一方、スポーツ・レジャー体験、文化体験はほとんど旅行目的になっていない。リピーターを増やすためにも、体験型コンテンツの開発が必要である。

《リピート率・消費額》

- ・2万円以上の割合が約半数を占めているが、GoToトラベルの効果により、高価格帯の需要が増えたためと考えられる。
- ・3万円以上の割合が約3割を占め、年代では50代が、リピート率では1回目がボリュームゾーンとなっている。

《周遊》

- ・周遊先としては、京都府、大阪府が約4割を占める。京都府、大阪府と連携した周遊コースの開発などが課題と考えられる。

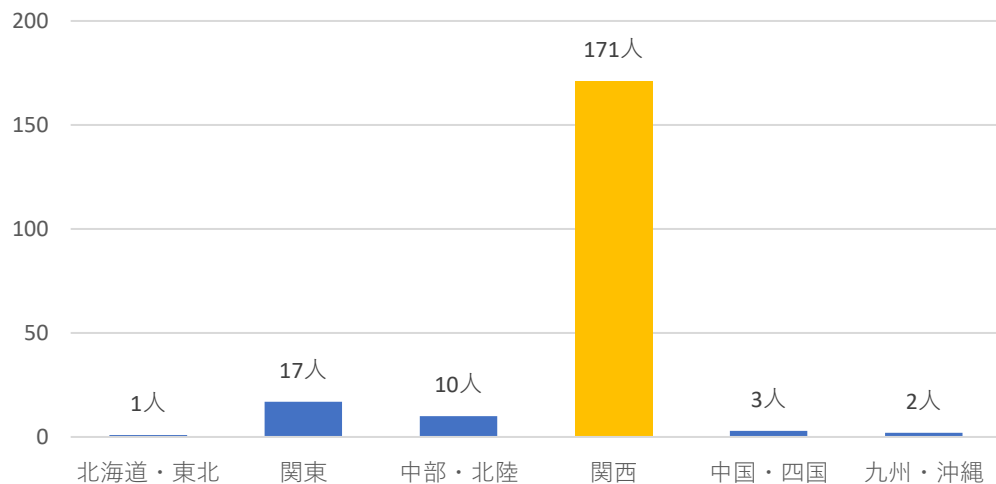
回答者属性

居住地



居住地

N=204 ※不明：2

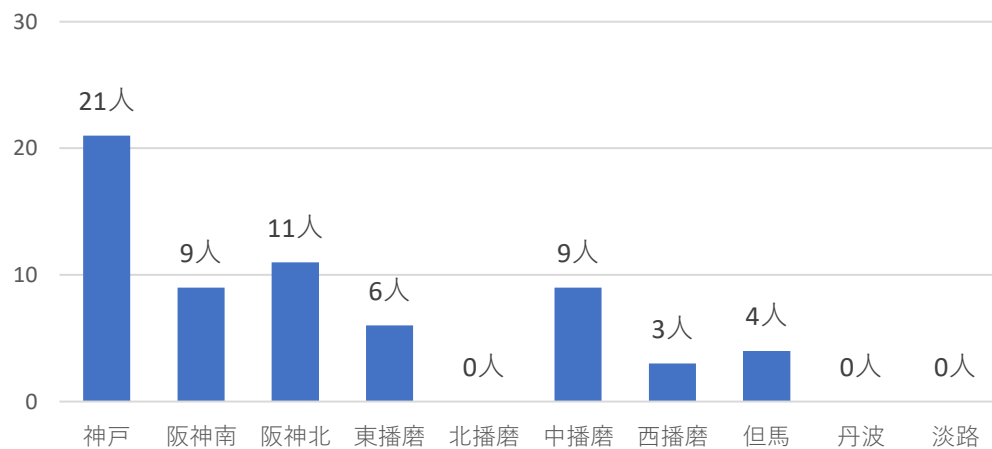
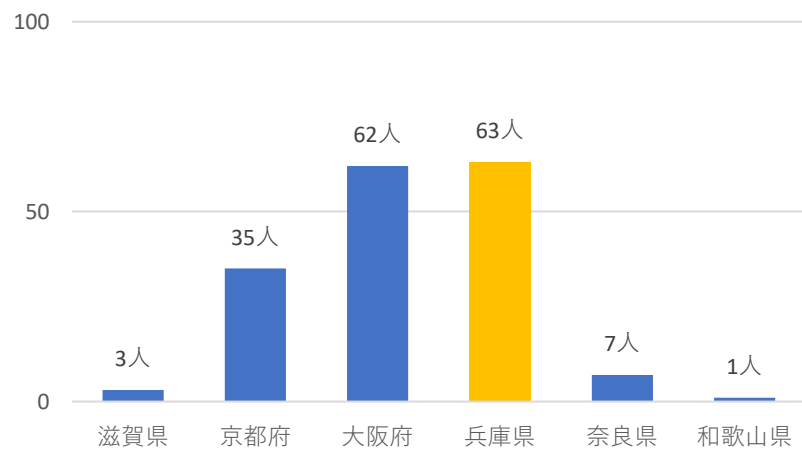


居住地（うち関西）

N=171

居住地（関西のうち兵庫県内）

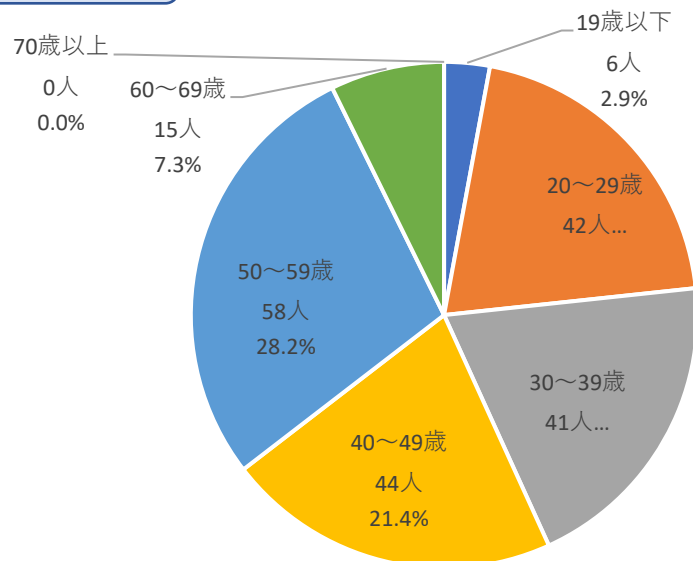
N=63



年齢・性別

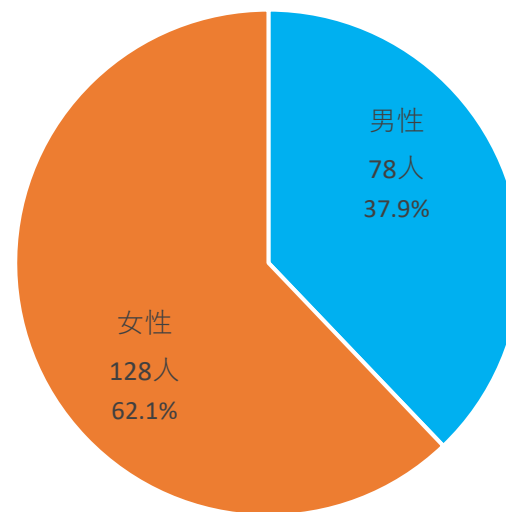


年齢



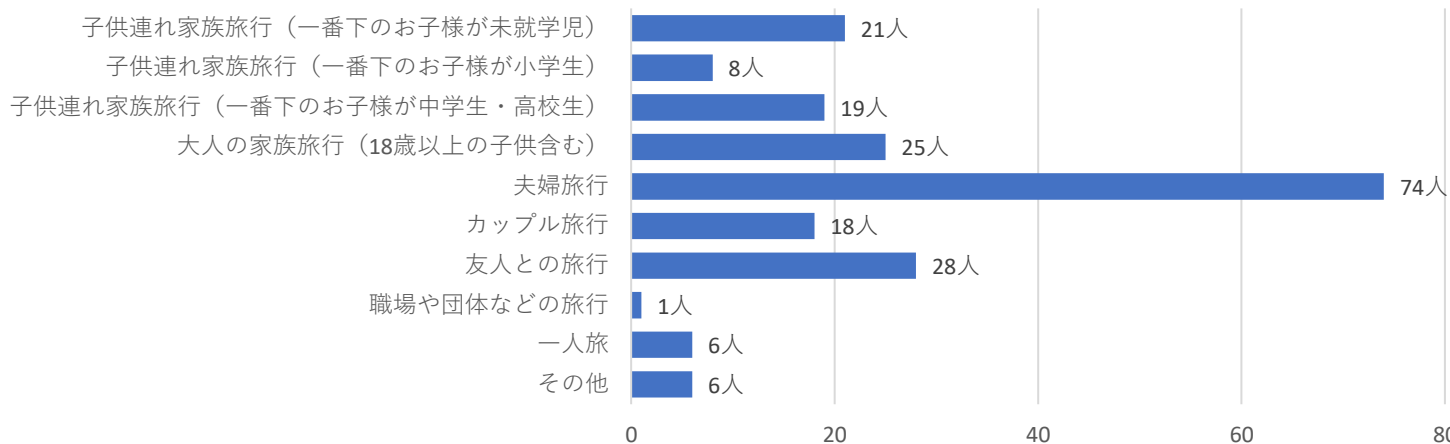
N=206

性別



N=206

同行者



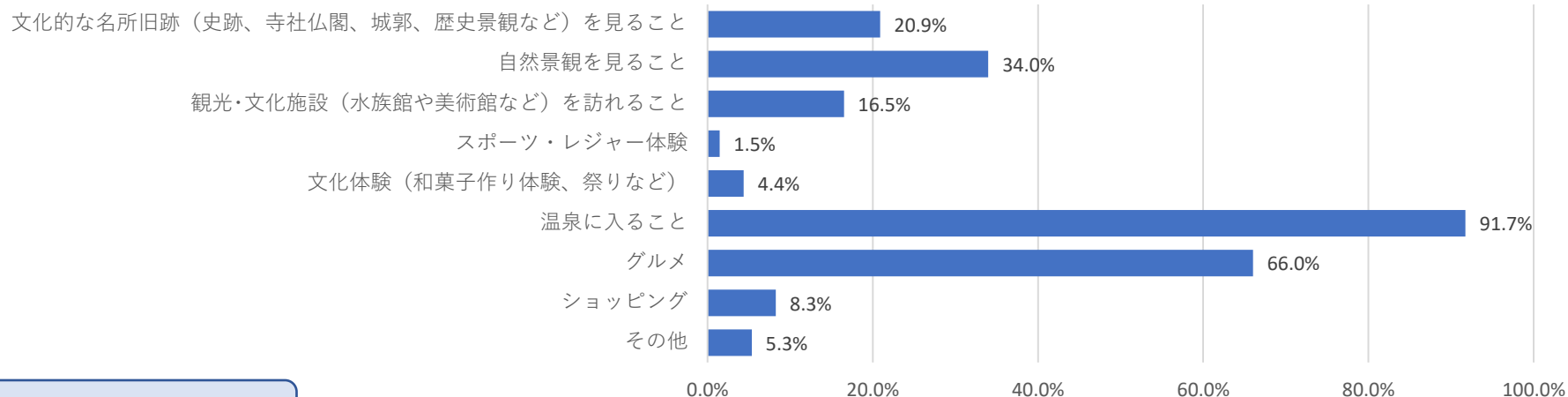
N=206

調查結果

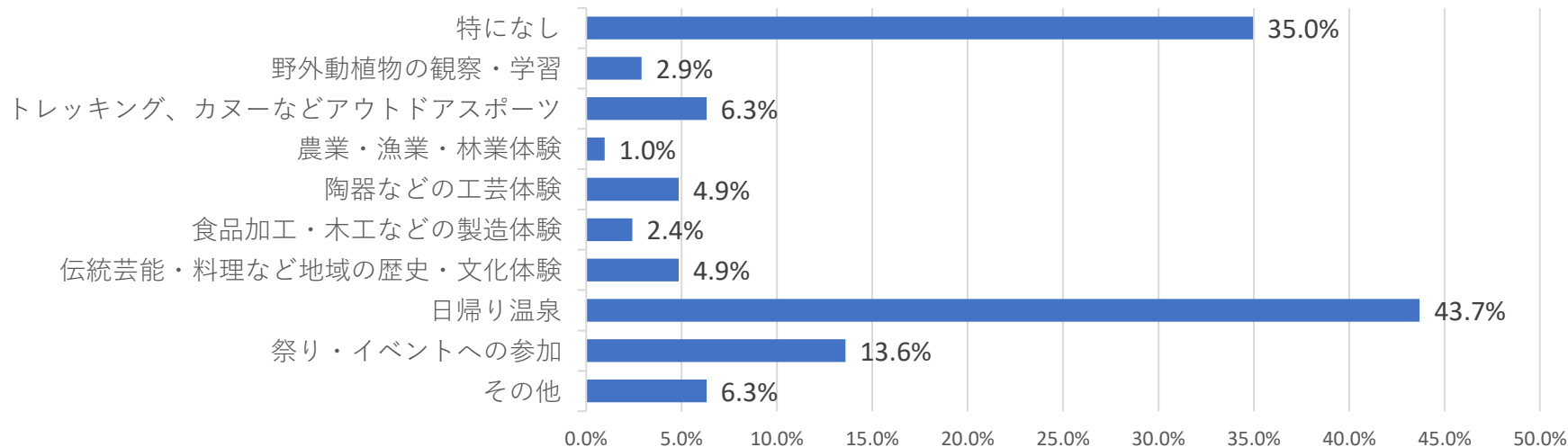
旅行目的・体験したコンテンツ



旅行目的



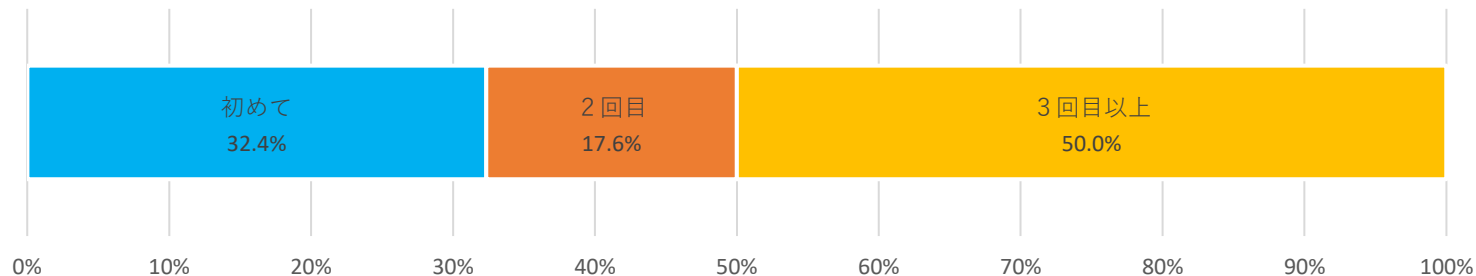
体験したコンテンツ



リピート率・消費額①

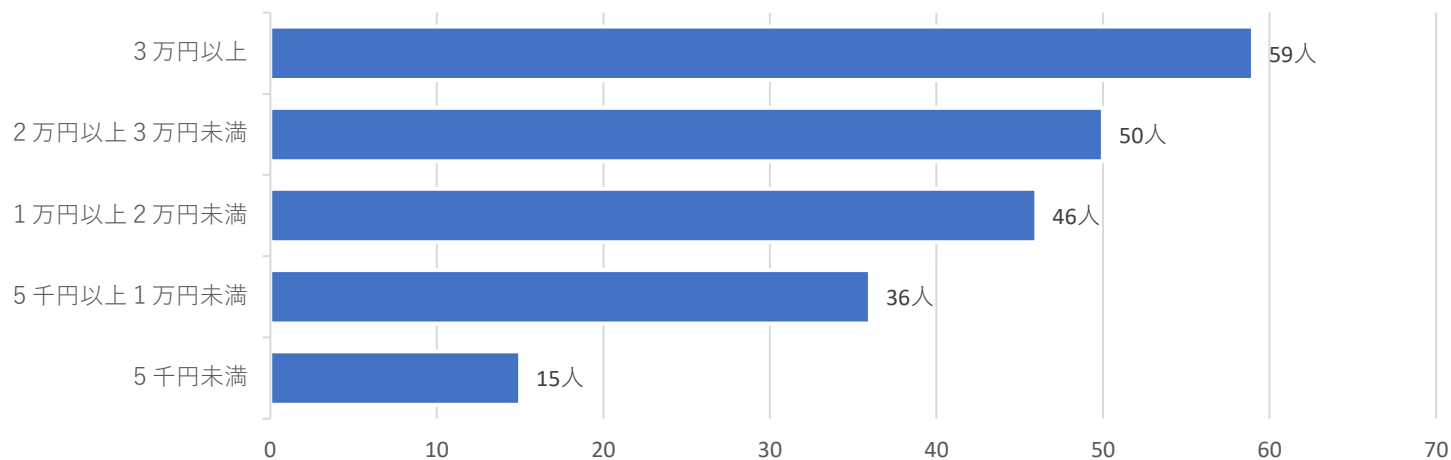


リピート率



N=206

地域内での消費額

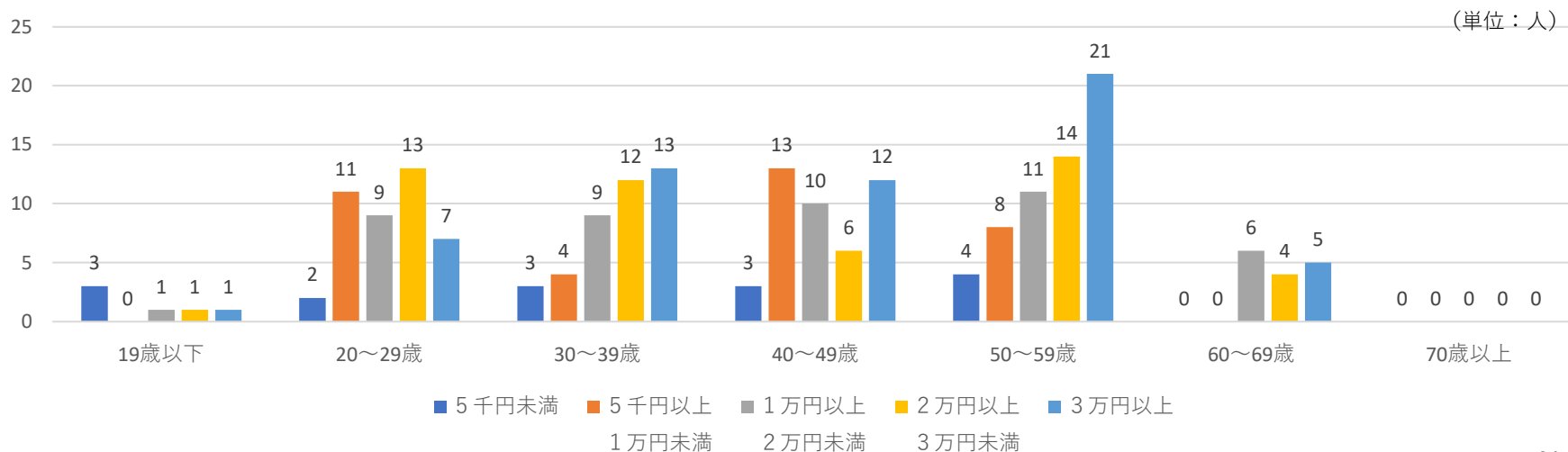


N=206

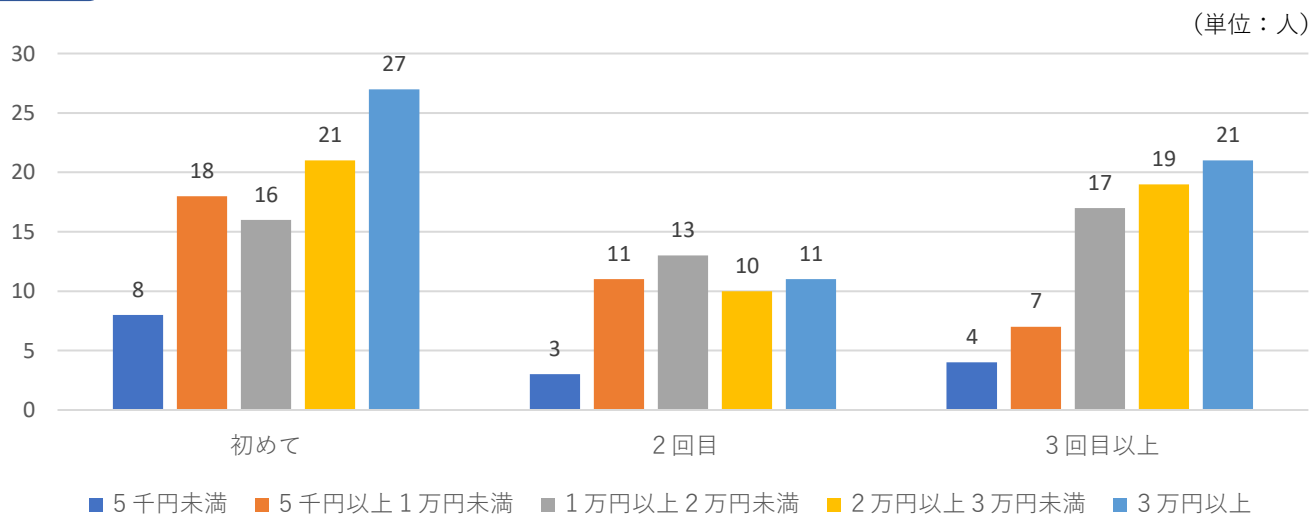
リピート率・消費額②



消費額×年代



消費額×リピート率



N=206

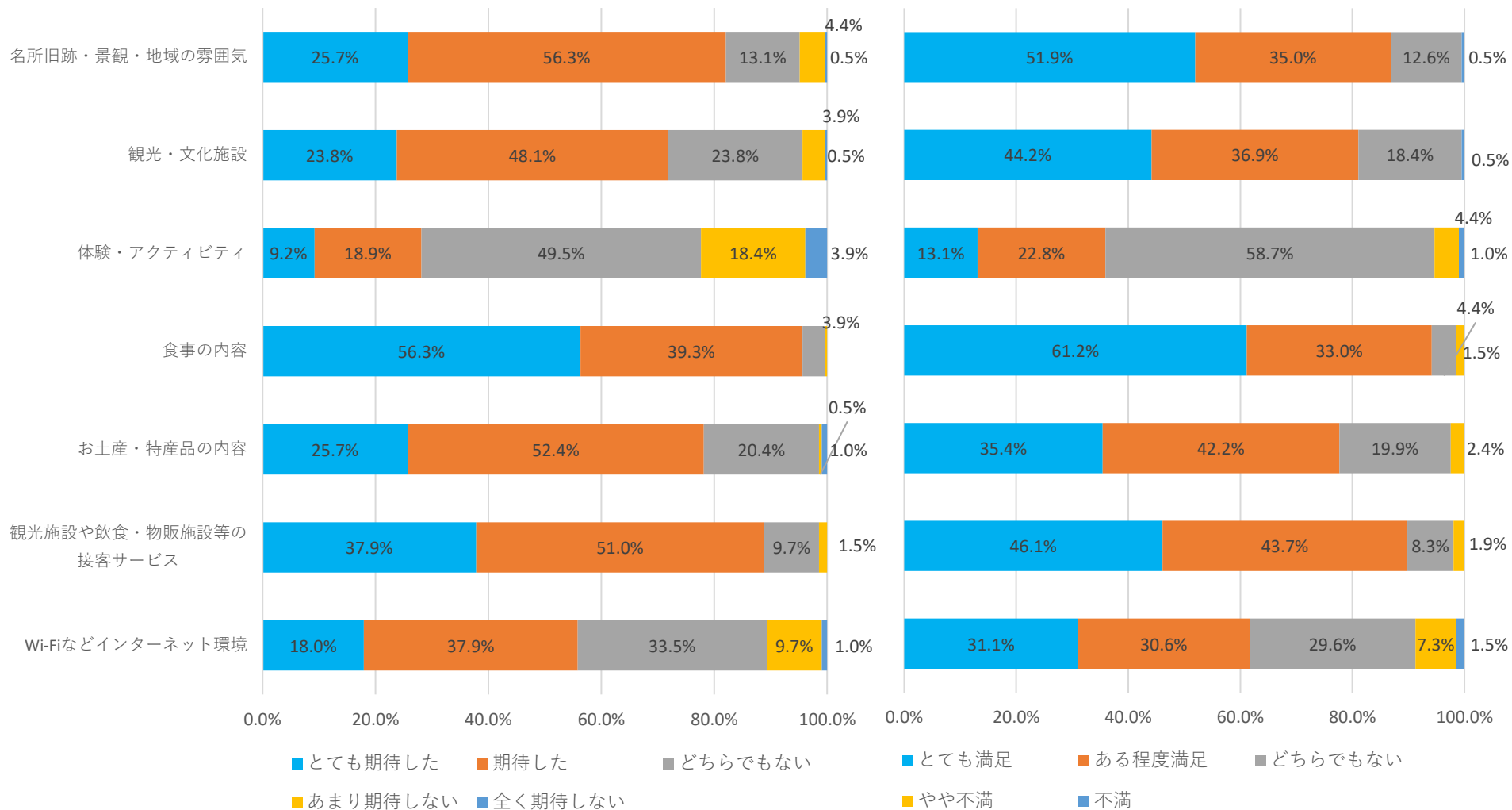
N=206

地域への期待度・地域の満足度



期待度

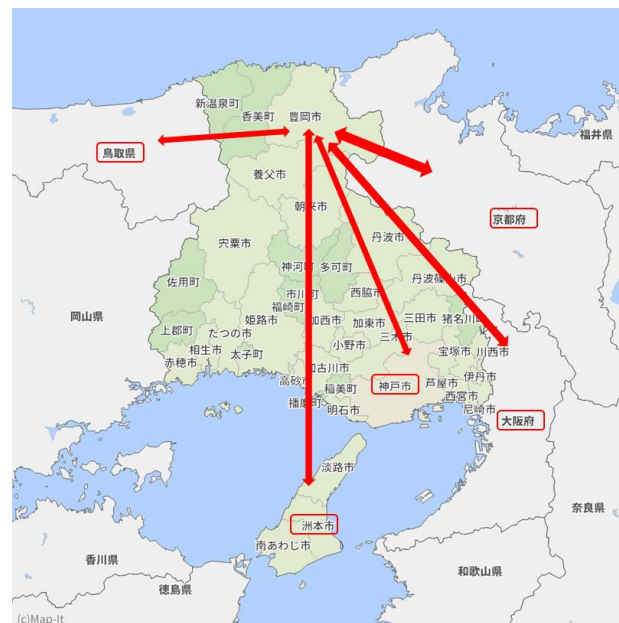
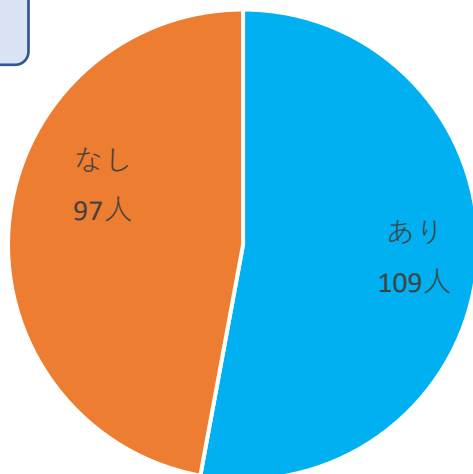
満足度



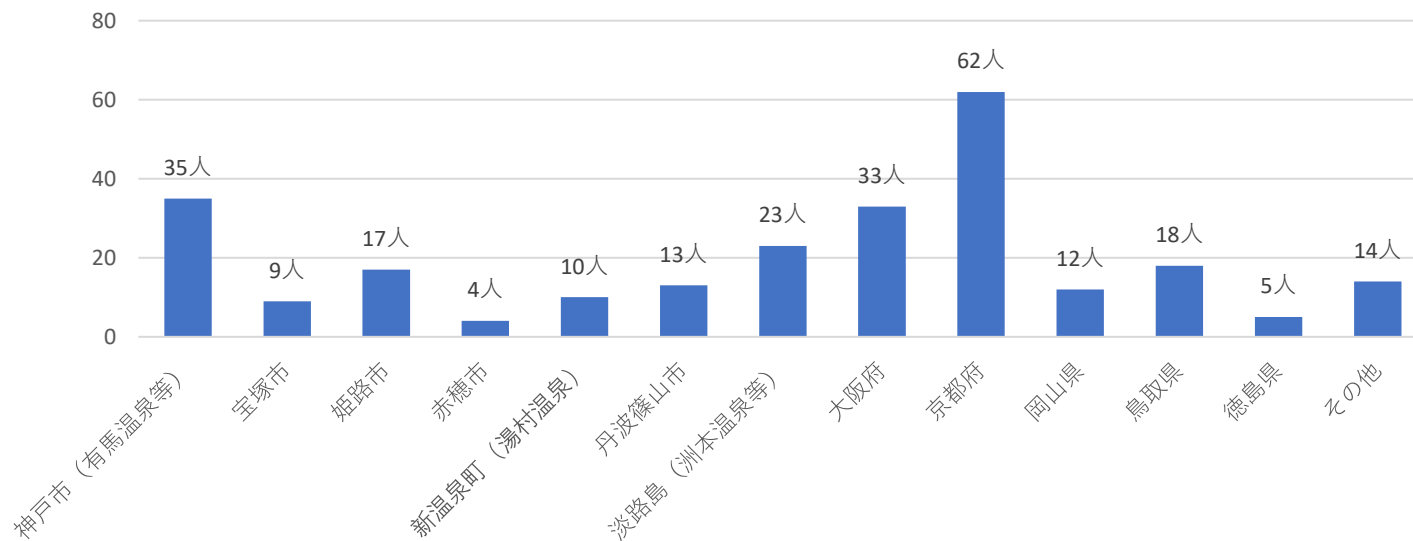
周遊の有無・周遊先



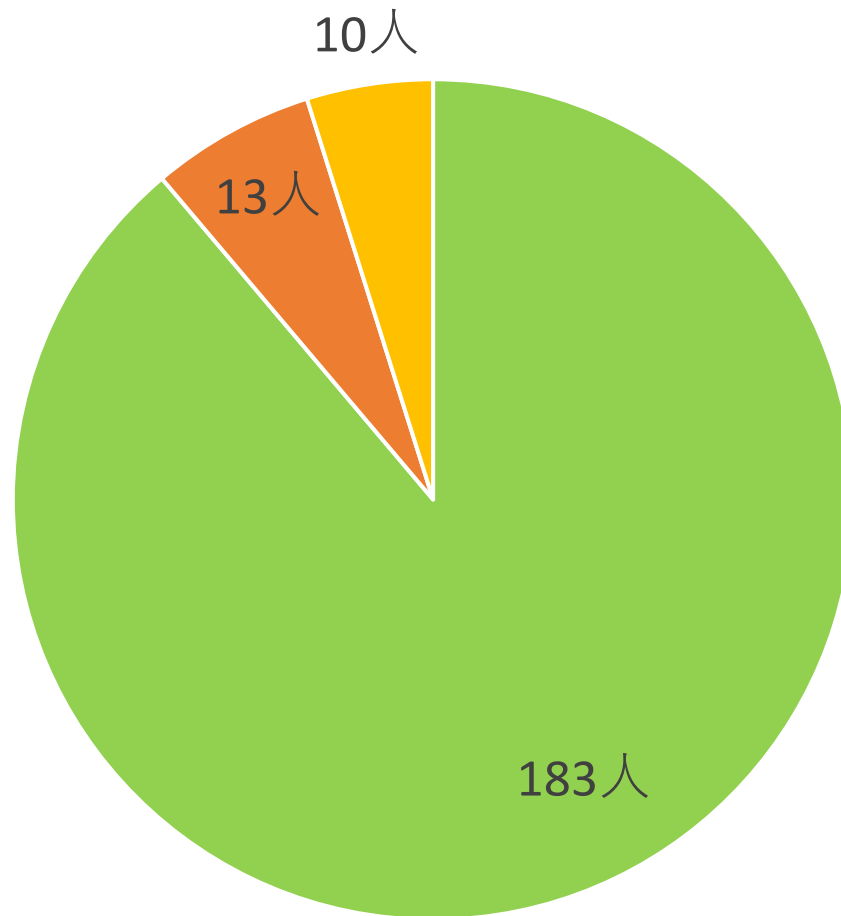
周遊の有無



周遊先



宿泊の有無



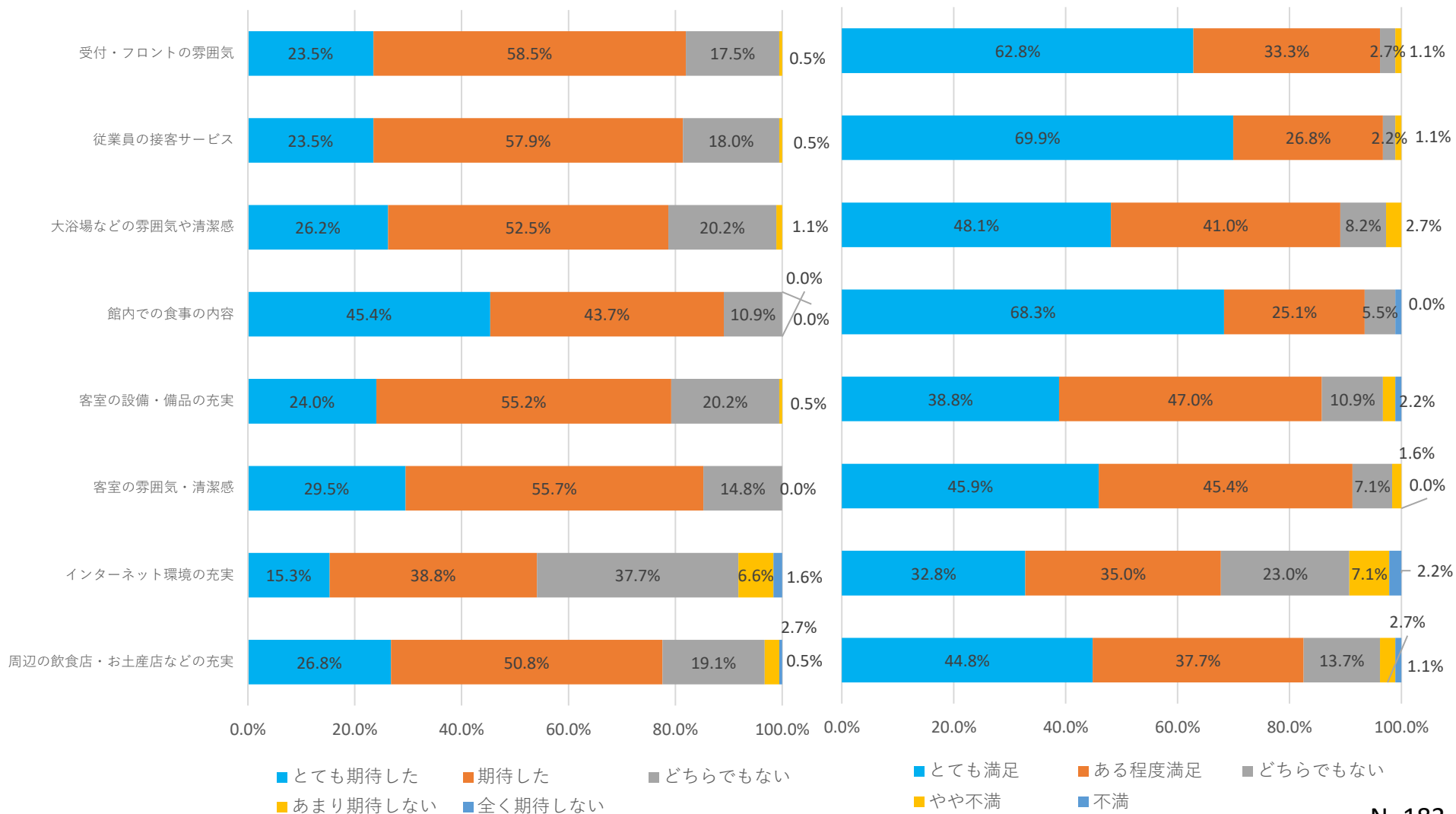
- 宿泊あり（城崎温泉地域内での宿泊を含む）
- 宿泊あり（城崎温泉地域内では宿泊しない）
- 宿泊なし（日帰り旅行）

宿泊施設への期待度・宿泊施設の満足度



期待度

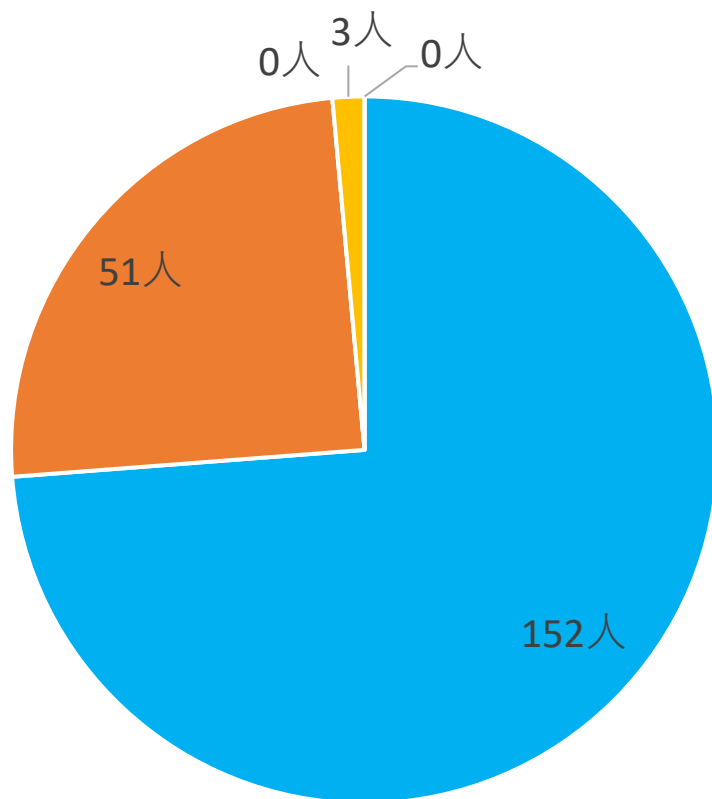
満足度



再訪意向



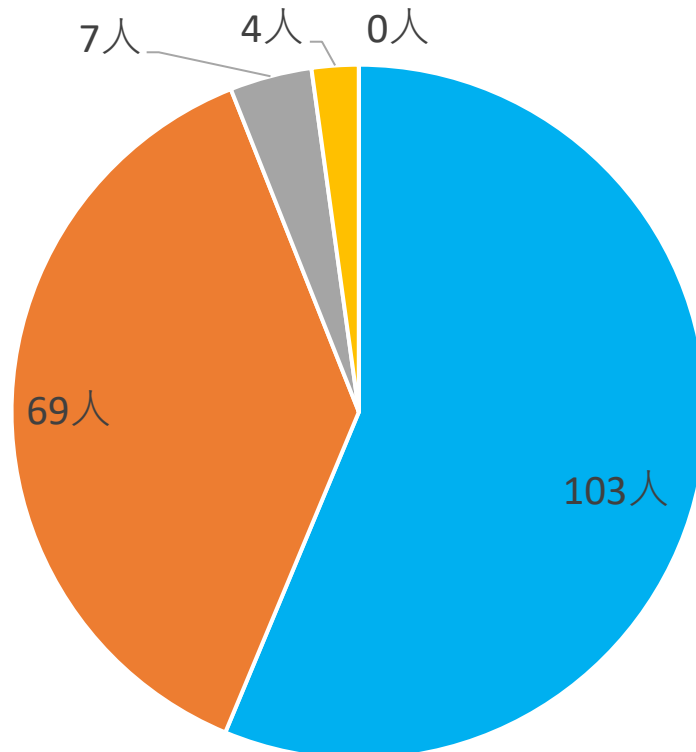
地域への再訪意向



- ぜひまた訪ねたい
- 機会があれば訪ねたい
- どちらでもない
- あまり訪ねようとは思わない
- 訪ねたくない

N=206

宿泊施設への再訪意向



- ぜひ利用したい
- 機会があれば利用したい
- どちらでもない
- あまり利用しようとは思わない
- 利用しない

N=183